



町福祉大会(作文コンクール表彰)  
福祉バザー&チャリティーショー  
(11月26日)



# 町民のひろば

皆さんが参加するコーナーです。  
耳よりな情報、ご意見、ご質問  
など気軽にお寄せください。  
総務課広聴広報統計係 内線257

## さわちゃん劇場

(沢口浩 作・画) ④③



(笑話)

## またひとつ ふるさとのCD誕生!

今年2月、ワインパーティーでお披露目されたく  
すまきワインの応援歌「アウスレーゼくすまきワイン」  
ほか2曲が収録されたCDが誕生しました。

いずれも作詞・作曲は、新町の向川原英美さん  
(62歳)。補作・編曲は、さわちゃん劇場でもおなじ  
みの沢口浩さん(45歳・中村)など。歌は葛巻コ  
ールアロー、吉澤ツエさん(55歳・田子)ほか生粋の  
葛巻人の温かいハートがたっぷり詰まっています。

■CD取り扱い先 くすまきワイン、くすまき高原牧場、  
ふれあい宿舎グリーンテージ



ジャケット 表



裏

収録曲：アウスレーゼくすまきワイン、葛巻賛歌、新町ちよこつと音頭。全曲カラオケ付き。1枚1,000円



川村 正志さん  
(50歳・栗山)

爪切りには眼鏡が必需品

「おもしろいよ。爪がきれいになると姿勢もよくなり、牛が安心した顔つきになるから」とにっこり笑います。年二回の削蹄が理想。乳量や繁殖、寿命も違ってくる、自らの経営で実践しています。今年、後継者の竜太さん(二十二歳)が戻り就農。「家族も牛も健康で、ゆとりのある酪農がしたい」と目標に向かい、常に挑戦し続けます。

川村さんは、経産牛五十五頭、未經産牛六十頭の大規模酪農家。そのかわら、月に十日前後、牛の削蹄師としての仕事をしています。九月五日、東北地区牛削蹄競技大会でみごと優勝。十月三十日、三度目の全国大会に出場しました。出場者の中では最年長、削蹄歴二十五年以上のベテラン。県大会を勝ち抜き、東北大会は十二回の出場経験があります。

## 目標に向かって常に挑戦!

大会に参加し続けるのは、自分の技術の程度を知り向上させるため。「削蹄の技を極めたい。牛にも農家にも信頼につながるから」と話します。

削蹄師を目指したきっかけは、家の牛にひづめの病気が多く、自分で削蹄できれば経営にも役立つと思ったことから。削蹄作業は常に中腰状態。牛の姿勢や歩き方、ひづめの形状を見て、その牛に最も適した削り方をしていきます。牛を暴れさせない熟練の技。

## わが家の 295 アイドル



あおい  
佐々木 碧泉ちゃん  
(3歳9カ月・泉田  
隆 幸)さん長女  
真紀子)



ともや  
松下 智哉くん  
(3歳7カ月・茶屋場  
晃 京子)さん長男

泣き虫で人見知りをしますが、家ではとても活発でお世話好き。お兄ちゃんたちを相手に小さなお母さんのようです。最近、パズルに興味を持ち始め、毎日おばあちゃんと一緒に遊んでいます。自然に人に対して優しくできる子に育ってほしいですね。 真紀子

恐竜や動物のことになる、目を輝かせて話し出します。特に恐竜が大好きで、フィギュア(模型)と一緒に風呂に入るほどです。時々、お兄ちゃん風を吹かせていますが、まだまだ甘えん坊の智哉。元気でたくましく、思いやりのある子に育ってね。 京子

## ハイ、 元気です 152

いつも体を動かすことを心掛けているヨシノさん。2年ほど前まで地区の老人クラブの踊りを披露するときには、近所の友達と一緒に振り付けを担当していました。「大変なときもありましたが、2人で相談しながらの作業はとても楽しかった」と振り返ります。

もうすぐ2歳になるひ孫さんの話になると、自然に顔がほころびます。「ひ孫の成長が何よりの楽しみ。いつも写真が送られてくるのでうれしい」と宮古から遊びに来る日を心待ちにしています。



觸澤 ヨシノ さん  
(84歳・茶屋場)

## ヤング 298



橘 和徳さん  
(23歳・江刈馬淵)

## ギターが大好きです!

◆勤め先は?  
北海道の酪農実習を経て、この春から家業の酪農をしています。生き物が相手なので、しっかり観察するようにしています。

◆自分の性格は?  
親に似て頑固です(笑)。一度言い出したなら引けない性分です。

◆趣味・特技は?  
音楽です。時間があれば、ギターを弾いています。押尾コータローやエリック・クラプトンの曲を弾くことが多いですね。

◆今、一番したいことは?  
雪が積もったら、スキーをしに行きたいです。

◆理想の女性像は?  
自分の大ざっぱな面をサポートしてくれる、しっかりした人。

◆将来の夢は?  
父を超える酪農家になりたいです。

◆最後に一言。  
皆さん、僕と仲良くしてください。